

## 海況

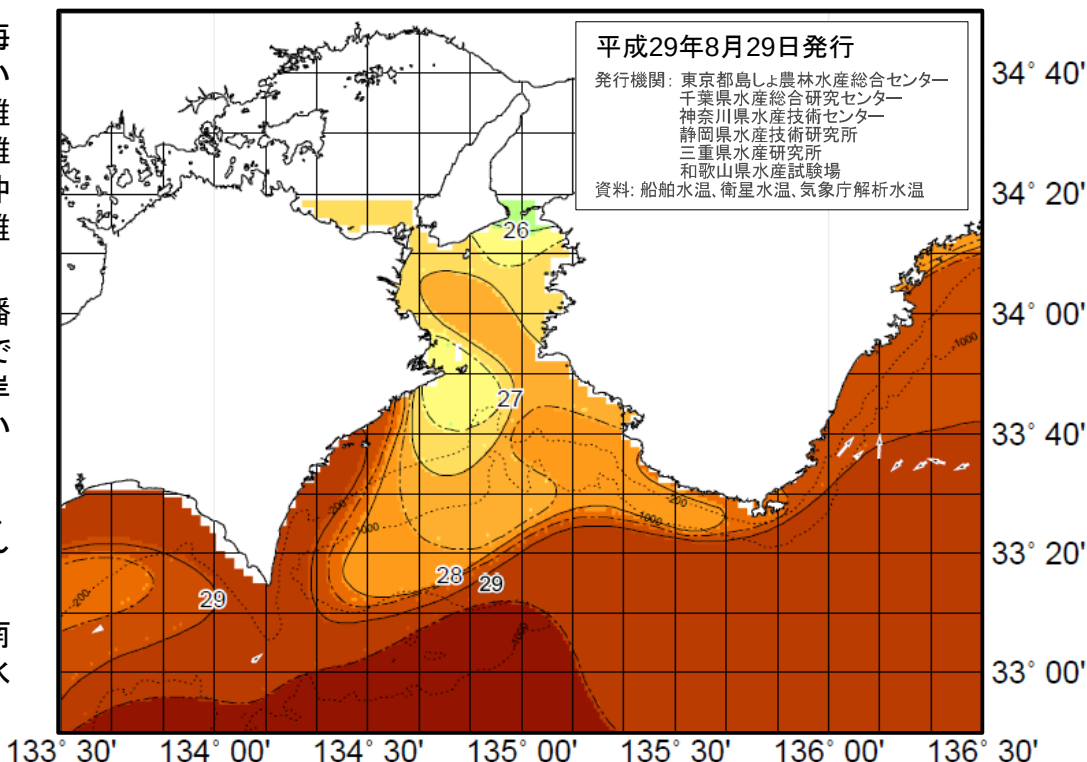
### 1. 周辺海域の水温

黒潮は、室戸岬沖から東海沖にかけて大きく離岸している。室戸岬沖では先週より離岸傾向で「離岸」～「著しく離岸」で推移している。潮岬沖で前号時点から引き続き「離岸」で推移している。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘で26℃台、紀伊水道で26℃～27℃台、海部沿岸で26℃～29℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は、平年並みか高めの29℃～30℃台となっている。

先週頃から紀伊半島の南東で反時計回りの流れ(冷水渦)ができています。

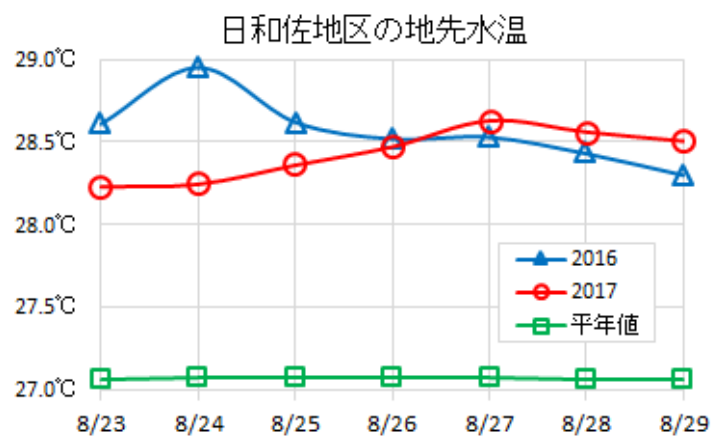
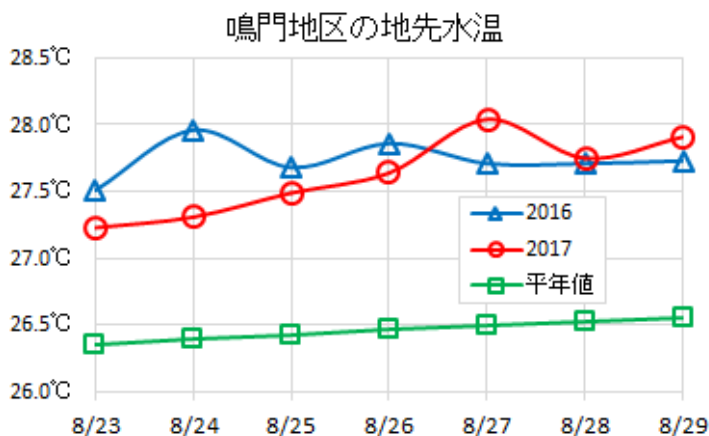


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

### 2. 地先水温(8月23日～8月29日)

鳴門地区の地先水温は、おおむね「やや高め」の27.2℃～28.0℃で、27日に「高め」となったほかは、ゆるやかな右肩上がりで推移した。

日和佐地区の地先水温は、おおむね「やや高め」の28.2℃～28.6℃で推移した。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

### 3. 週間予報(8月30日～9月5日)

黒潮は、室戸岬沖では接岸傾向で「離岸」～「やや離岸」、潮岬沖では離岸傾向で「離岸」～「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、日和佐地区とも「やや高め」で、鳴門地区では28℃前後、日和佐地区では28℃台で推移する見込み。

**漁況** 2017年8月21日～8月27日（旧暦閏6月30日～7月6日）

**1. 紀伊水道(標本漁協数:3)**

船びき網では、シラスが増えて12.3ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが減って大主体に0.3ト水揚げされた。

延縄では、ハモが前週並みの3.8ト、タチウオが大きく増えて2.5ト水揚げされた。

小型定置網は、カンパチが前週並みの0.7ト、マアジが増えて小小主体に0.6ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが減って10.5ト水揚げされた。

**2. 海部沿岸(標本漁協数:4)**

延縄では、カサゴが増えて特大主体に0.6ト、アカムツが増えて0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が前週並みの0.9ト、マアジが増えて小小主体に0.2ト、カンパチが大きく減って0.1ト水揚げされた。

**漁獲量集計表(漁獲が0.1ト以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 <sup>※</sup>
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	81	シラス	12,275	152		↗
	釣り	26	イサキ	342	13	大主体	↘
	延縄	29	ハモ	3,766	130		→
			タチウオ	2,502	39		↗↗
			サワラ	101	7		↗↗
	小型定置網	29	カンパチ	742	26		→
			マアジ	579	36	小小主体	↗
			マダイ	117	6		↘↘
	底びき網	46	ハモ	10,539	229		↘
			イボダイ	109	3		↗
えそ類			105	4		→	
海部沿岸	延縄	16	カサゴ	559	35	特大主体	↗
			アカムツ	397	17		↗
			キダイ	187	14	大主体	↗↗
			いとより類	107	8	大主体	↗↗
	小型定置網	17	かます類	851	50		→
			マアジ	202	16	小小主体	↗
			カンパチ	117	6		↘↘

※ 前週比 8/14～8/20の集計値との比較

200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘